

して整備するのが最善の策であると判断したところである。

■予算特別委員会(質問項目)

○平成21年度補正予算案及び関連議案 ◆一般会計

国の2次補正を受けて、約3億円の市費を投じてまで地域活性化・きめ細かな臨時交付金事業として7億2,300万円の補正を今回計上した意図、経済効果が上がるような市内業者への発注方法の検討、地域活性化・きめ細かな臨時交付金で前倒し実施する事業の事業総量に占める割合、中学校施設改修事業を今回、繰越明許費として補正計上した理由と事業内容、生活交通路線維持費補助の概要、地域密着型サービス施設整備補助金及び地域密着型サービス施設開設準備補助金補正の経過と理由、小規模多機能施設及びグループホームの現在の事業所数と介護保険事業計画における計画数並びに今後の見通し、認定農業者育成事業の利用者が伸びなかったことの分析と利用者増加に向けた今後の取り組み、認定農業者育成事業の地区別申請数、認定農業者育成に向けた段階的な施策展開、農業の担い手不足解消に向けた市の取り組み、勤労青少年ホーム修繕料の減額内容、因島勤労青少年ホームの修繕の必要性の認識と対応並びに今回、地域活性化・きめ細かな臨時交付金事業で対応しなかった理由、港湾整備事業県工事負担金増額補正の事業内訳と事業概要、尾道駅前港湾駐車場南側の海岸高質化工事の概要、ビジターバスの整備予定場所と整備後のサービス内容並びに維持管理、NHKで放送される連続テレビ小説「てっぺん」のストーリーの概略とロケ対応、「てっぺん」を活かしたまちづくりの方向性と市民の協働、妊婦・乳幼児健康診査委託料の減額理由、新型インフルエンザ予防接種費の減額理由並びに今回の減額補正と繰越明許費補正の関係、優良賃貸住宅補助金返還金補正の内容と今回補正計上に至った経過、さらに因島への食堂設置指導、生活保護受給者への高齢者向け優良賃貸住宅等の使用体制、将来を見据えた子ども手当システム開発の必要性について



きらら因島

◆各特別会計

公共下水道事業特別会計において、公共下水道受益者負担金の大幅増額補正の理由、公共下水道の計画区域見直しの検討と合併浄化槽設置の推進について

◆尾道市立市民病院附属瀬戸田診療所管理運営基金条例

今回基金設立に至った理由、これまで交付を受けた移管交付金の費用支出、市民病院附属瀬戸田診療所の収支見通しについて

○平成22年度当初予算案及び関連議案

◆一般会計歳入

○ 市民の収入減少をどう認識しているのか。

○ 収入が8%減少し、その結果、約1千人が非課税になると予測している。市民生活の苦しさは認識しており、景気対策等できる限り配慮している。

○ 住民生活の安心安全を守り、地方経済を支えることを目的として地方交付税が増額されたが、予算編成には反映できているか。

○ 財源が補償されたので、安心安全な行政を維持する予算につながっている。

○ 不況下に放課後児童クラブを有料化し、保育料も値上げするなど、市民に負担増を強いることをどう認識しているのか。

○ 合併協議で合意し、経過措置を経たものなので均一化を図るものである。

○ 千光寺公園条例にかかわり、千光寺公園グラウンドの使用方法について聞きたい。

○ イベント実施日を除いて、グラウンドゴルフ、サッカー等の利用に開放し、利用申し込みは勤労青少年ホームで受け付けるということで、4月に利用団体に説明する予定である。

◆一般会計歳出

○ 音楽によるまちづくり事業の内容について聞きたい。

○ 市内各ホールでのコンサートやアウトリーチ事業、市民ギャラリーによるミニコンサートを予定している。

○ 高見山送信所移設の経緯等について聞きたい。

○ 現在借用している中国放送のアンテナ廃止が決定されたところ、NHKの厚意によりアンテナを借用できたもので、因島瀬戸田地域で新たに7千帯へ防災情報等を放送できるようになる。

○ 防災行政無線等がある中で防災情報をFM放送に頼る理由と中継アンテナの設置や電波の出力増の検討について聞きたい。

○ 土砂降りの雨が降ると屋外放送は室内では聴こえにくく、FM放送が有

効であり、中継アンテナや出力増は許可が出るまで時間がかかるが、比較的安価に防災情報を発信できる手段なので検討したい。

○ 地籍調査事業凍結の経過と今後の対応について聞きたい。

○ 地籍調査は市域全体で実施して、初めて効果が得られるが、それには莫大な費用と時間がかかるため事業の継続を断念した。調査を予定していた地域の方へは文書でお知らせする。

○ 職員等の旅費に関する条例にかかわり、旅費日当廃止により減少する予算額と、それを原資にした職員の民間企業への派遣研修を実施する考えはないか。

○ 減少額は約1,180万円である。また、過去に派遣研修を民間企業に打診したところ、受け入れ困難という回答があって断念した経過もあるが、検討していきたい。

○ 尾道市一般職の任期付職員の採用等に関する条例にかかわり、その他の採用制度との違いについて聞きたい。

○ 高度の専門的な知識経験または優れた識見を一定の期間活用することが必要な場合に任期を定めて採用する制度で、現段階で該当する職はないが、医師不足対策への活用を検討したい。

○ 緊急通報体制等整備事業の概要について聞きたい。

○ 高齢者の急病等緊急時に迅速に対応できるよう、電話機に取りつける緊急通報装置を貸与し、安全・安心の提供を行う事業であり、健康や身体に不安のある原則65歳以上の一人暮らしの高齢者が対象である。

○ 家庭保育事業補助金にかかわり、市の保育行政の補完的役割を担っている家庭保育園への補助額を抜本的に改善すべきではないか。

○ 補助額は徐々に増やしているが、尾道つくしプランも含めた全体的な施策の中で、今後も検討していきたい。

○ 小規模福祉施設スプリンクラー整備補助金の概要について聞きたい。

○ グループホームへの設置を補助するものであり、平成22年度は2施設設置予定である。

○ 尾道市重症心身障害者福祉年金条例にかかわり、条例改正による影響について聞きたい。

○ 重症心身障害者福祉年金支給対象者のうち、向島町在住323人中300人以上が対象外となり、支給額637万円が約600万円減になる。

○ 5歳児相談事業の具体的な実施内容について聞きたい。

○ 就学前の5歳児に対し保健師、心理

士等が個別に相談を受け、直接助言や指導を行うことにより、発達障害の早期発見と対応を目的としている。保育所・幼稚園等を通じて保護者に案内通知を配布し、相談を希望する5歳児に対して、総合福祉センター、因島保健センターで相談事業を実施するものである。

Q 自殺対策緊急強化事業の概要について聞きたい。

A 国が地域の自殺対策を緊急に強化するための、平成23年度までの期間限定の助成事業であり、講演会開催を予定している。

Q 尾道市の地域医療を守る条例にかわり、条例提案の理由について聞きたい。

A 本市において、全国的に知名度のあるケアシステムを継続し、地域医療を守るために提案したものである。

Q 平山郁夫美術館教育普及事業の概要について聞きたい。

A 学芸員など専門的知識を持つ人を1名雇用し、美術館の出前講座や公民館との連携による教育普及活動を実施するものである。



平山郁夫美術館

Q 援農テグー隊事業の募集方法について聞きたい。

A J Aの広報や市のホームページで4月を第1期として募集し、J Aの全所が窓口となる。5月末の締切後に本所または支所で説明会を実施する予定である。

Q 夜間景観創出事業の内容について聞きたい。

A 旧市街地を含め光による演出をし、滞在型観光客の増加を図るものである。

Q 臨時会での補正議決後の鉄板の調達状況について聞きたい。

A 業者から見積もりをとり、20台購入する予定である。

Q 市内各企業からの鉄板寄附の取組を行ったか。

A 取組は行ったが、屋外用となると諸問題が発生し困難であった。

Q 通信指令関連工事の概要について聞きたい。

A 車両から司令室へ位置及び動態を伝送、また司令室から指令情報を車両に伝送するシステムをアナログからデジタルに変更するものである。

Q 耐震関係の予算が減少した理由及

び優先順位について聞きたい。

A 評価委員会の審査が終了しておらず、予算が執行できない学校が小学校2校、中学校4校あるためである。また、一次診断でI s値が低いもの及び校舎より体育館を優先する。

Q 向東小・中学校両校への給食調理場建設にかわり、調整区域内での候補地の検討及び従前どおりの共同調理場方式をとらない理由について聞きたい。

A 候補地は7カ所検討したが、条件では合わなかった。従来どおりの共同調理場とした場合、現在地では建築基準法上建設が困難なためである。

◆国民健康保険事業特別会計

Q けんこうキャンペーンの事業内容について聞きたい。

A 市民自らの健康づくりを応援するもので、健康づくりに取り組むことによりポイントを付与し、記念品等を提供することで健康づくりに対する意識を向上させようというものである。

◆介護保険事業特別会計

Q 介護基盤緊急整備等臨時特例交付金を活用して、待機者の多い特別養護老人ホームを整備しないのか。

A 第4期介護保険事業計画に沿ってグループホーム18床分と、25人定員の小規模多機能型居宅介護の1施設を整備するもので、特別養護老人ホームについては、現状での緊急性、必要性等も勘案して今後調査研究したい。

◆尾道大学事業特別会計

Q 大学施設整備に合併特例債を活用することはできないか。

A 合併特例債を活用するためには新市建設計画の変更をしなければならず、新市建設計画の見直しや議会の議決等、時間を要することから合併特例債の活用は困難と判断した。

Q 大学のキャンパス整備計画におけるE棟建設を先行する理由について聞きたい。

A 教育施設の不足を解消するためと教育の質的向上による他大学との差別化、あるいは大学が行政と連携して本市の発展を担っていくためにはまず教育を充実させることが必要と判断し、E棟の建設を提案している。

Q 財政状況が厳しい中でキャンパス整備に多額な予算を投入することの理解を得るには市民との議論が必要ではないか。

A 教育施設の不足については、大学の4年制移行から発生した懸案事項なので、市民の理解は得られていると考えている。

◆後期高齢者医療事業特別会計

Q 広島県全体で16.1%の上昇が見込

まれている保険料の上昇見通しについて聞きたい。

A 運営剰余金や安定化基金などを上昇抑制の原資とすることで、最終的には5.79%の上昇になると聞いている。

◆水道事業会計

Q 御調町東部上水道拡張事業について、終了年度の平成23年度までに工事の進捗したところから通水を始めることができないか。

A 配水池は完成しているもので、1日70トンの水使用が見込まれば新年度内にも通水を開始したい。

◆病院事業会計

Q 市民病院の経営状況改善の見通しの理由について聞きたい。

A 患者7人に対して看護師1人という看護体制の導入や地域医療支援病院入院診療加算、入院時医学管理加算、医師事務作業補助体制加算の加算措置等により、今年度から経営が改善し、新年度においても黒字を見込んでいる。

■議会の人事

予算特別委員会 委員長 新田 賢慈
副委員長 宮地 寛行



委員長



副委員長

■意見書

◇政治資金規正法の制裁強化を求める意見書

■議会を傍聴してみませんか

傍聴席は本会議51席(車いす利用者3人分含む)、委員会10席程度です。

傍聴を希望する人は、当日、市役所5階の議会事務局へお越しくください。受付で住所、名前、年齢を記入していただきます。

また、ご家庭のパソコンで本会議の録画中継を見ることもできます。ぜひご覧ください。視聴方法は、尾道市議会ホームページの「本会議録画中継」からご覧になりたい会議名を選んでください。

http://www.city.onomichi.hiroshima.jp/gikai/gikaiindex.html

問い合わせ先

議会事務局 ☎0848-25-7371